



Y.Hamano

## THE KEIO HAI SPRING CUP

## 第70回 京王杯スプリングカップ (GII)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着  
本 賞 59,000,000円 24,000,000円 15,000,000円 8,900,000円 5,900,000円  
付加賞 854,000円 244,000円 122,000円



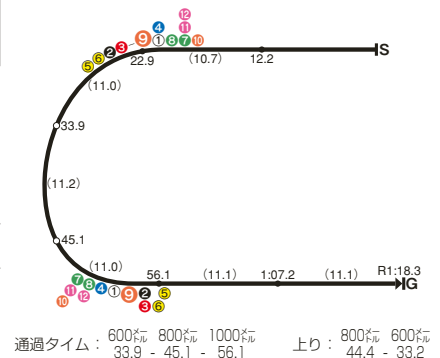
レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 57<sup>+</sup>、牝馬2<sup>+</sup>減、2024.4.27以降G I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2<sup>+</sup>増、牝馬限定G I競走またはG II競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1<sup>+</sup>増、2024.4.26以前のG I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1<sup>+</sup>増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.5.3 東京 晴・良 芝1400<sup>+</sup> 国産 (指定)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600 <sup>+</sup> )	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑨	トウシンマカオ	牡	6	58	横山武史	R1:18.3	5-5	32.6	486(+6)	4.1②	高柳瑞樹(美浦)	116
2	③	ママコチャ	牝	6	56	川田将雅	1½	4-3	33.1	492(±0)	2.9①	池江泰寿(栗東)	109
3	④	ロジリオン	牡	4	57	松山弘平	1	6-7	32.7	496(-2)	6.1③	古賀慎明(美浦)	109
4	⑩	レッドモンレーヴ	牡	6	57	M.ティエ	1¼	12-10	32.4	524(+2)	6.5④	蛸名正義(美浦)	107
5	①	シャドウフューリー	牡	5	57	戸崎圭太	1¼	6-6	33.2	486(-4)	10.2⑥	杉山晴紀(栗東)	
6	⑩	トゥラヴェシュラ	牡	10	57	三浦皇成	アタマ	9-10	32.6	482(-2)	119.3⑩	高橋康之(栗東)	
7	⑥	カンチェンジュンガ	牡	5	57	幸 英明	½	9-8	33.0	484(-8)	14.7⑦	庄野靖志(栗東)	
8	⑥	バルサムノート	牡	5	57	松岡正海	1	2-2	34.1	514(-4)	66.5⑨	高野友和(栗東)	
9	⑤	アサカラキング	牡	5	57	横山和生	½	1-1	34.3	530(-2)	9.7⑤	斎藤 誠(美浦)	
10	②	カルロヴェローチェ	牝	5	57	M.テムロ	ハナ	3-3	34.0	508(+2)	153.3⑪	須貝尚介(栗東)	
11	⑧	スズハローム	牡	5	57	菅原明良	2½	8-8	33.5	454(-4)	120.9⑪	牧田和弥(栗東)	
12	⑦	オオパンプルマイ	牡	5	57	津村明秀	クビ	9-10	33.4	462(+4)	22.0⑧	吉村圭司(栗東)	

単勝⑨410円(2<sup>+</sup>) 複勝⑨150円(2<sup>+</sup>) ③130円(1<sup>+</sup>) ④170円(3<sup>+</sup>) 枠連③-⑦370円(1<sup>+</sup>)  
馬連③-⑨640円(1<sup>+</sup>) ワイド③-⑨260円(1<sup>+</sup>) ④-⑨460円(4<sup>+</sup>) ③-④340円(2<sup>+</sup>)  
馬単③-⑨1,230円(2<sup>+</sup>) 3連複③-④-⑨1,220円(1<sup>+</sup>) 3連単③-④-⑤5,360円(3<sup>+</sup>)



### アラカルト

- ・横山武史騎手は京王杯スプリングC初勝利。J R A重賞は本年2勝目、通算25勝目
- ・高柳瑞樹調教師は京王杯スプリングC初勝利。J R A重賞は本年2勝目、通算10勝目
- ・ビッグアーサー産駒はJ R A重賞通算8勝目
- ・6歳馬の勝利は17年レッドファルクスに続く通算12回目
- ・馬単1,230円、3連複1,220円、3連単5,360円は各式別における本競走の最低払戻金額
- ・勝ちタイム1:18.3は02年N S Tオープンでマグナーテンが記録した1:19.0を更新する3歳以上芝1400<sup>+</sup>のJ R Aレコード
- ・トウシンマカオは安田記念(G I)に優先出走できる

# トウシンマカオ Toshin Macau

牡 栗毛 2019.5.1生  
北海道新ひだか町 服部牧場生産  
馬主・株サト 美浦・高柳瑞樹厩舎  
馬名意味・冠名+地名

サスベンスクイーンUSA系 F4-I

ビッグアーサー 鹿毛 2011	サクラバクシンオー 鹿毛 1989	サクラユタカオー サクラハゴロモ
	シャボナUSA 鹿毛 2005	Kingmambo Relish
	スペシャルウィーク 黒鹿毛 1995	サンデーサイレンスUSA キャンペンガール
ユキノマーメイド 栗毛 2003	サスベンスクイーンUSA 栗毛 1991	Woodman Crystal Cup

5代までのインブリード：Mr.Pro prospector S4×M4 Nijinsky M4×M5  
Northern Dancer S5×S5×M5

## INTERVIEW

服部健太郎代表(服部牧場)

### これだけの活躍は生産者冥利に尽きます

強い馬たちが相手でしたので最後はハラハラしましたが、あのレコードタイムには驚かされました。これも高柳調教師とスタッフの方々が、この馬の能力を理解して日々努力してくださったお陰だと感謝しています。6歳でこれだけの活躍をしてくれたことは生産者冥利に尽きます。引退後は種牡馬になってくれたらと思っていますので、GI制覇を願っています。

H. Ozawa



同舞台のリステッドを勝ち、中京でも重賞(セントウルS)を制しているものの、左回りコースでは外に張る面があり、本来のリズムで走れないことも多かった本馬。しかしこの日はそんな悪癖を見せずに流れに乗り、直線でもまっしぐらに加速、6着に沈んだ1年前の汚名返上を果たした。勝ちタイムの1分18秒3は従来の記録を23年ぶり、それも一挙に0秒7も更新するJRAレコード。いっそうの進化を示した6歳のビッグアーサー産駒は、安田記念には向かわずひと息入れ、念願のGI制覇がかかる秋に備える。

## 父ビッグアーサー

北海道浦河町 パンパー牧場生産 中央、香15戦8勝(高松宮記念<sup>G1</sup>、セントウルS<sup>GII</sup>、京阪杯<sup>GIII</sup>2着、北九州記念<sup>GIII</sup>2着、阪神C<sup>GII</sup>3着)、18年から供用〔代表産駒〕**トウシンマカオ**(本馬)、**ビッグシーザー**(京阪杯<sup>GIII</sup>、オパールS・L、マーガレットS・L、淀短距離S・L、オーシャンS<sup>GII</sup>2着、函館スプリントS<sup>GIII</sup>3着、葵S<sup>GIII</sup>3着)、**プトンドール**(函館2歳S<sup>GIII</sup>、ファンタジーS<sup>GIII</sup>2着)、**カンチェンジュンガ**(阪急杯<sup>GIII</sup>)、**ブーケファロス**(マーガレットS・L2着)、**ウインモナーク**(ラピスラズリS・L3着)、クリスアーサー(中京2歳S<sup>Gp</sup>)

## 母ユキノマーメイド

北海道静内町 服部牧場生産 中央31戦4勝(おおぞら特別、駒ヶ岳特別)(10 流産)

シレーナ(11 牝父アドマイヤムーン)中央3戦0勝、地方47戦4勝

**ベストラング**(12 牝父タイキシャトルUSA)中央57戦7勝(都大路S・L、

米子S<sup>Gp</sup>、錦S、舞子特別、マイラーズC<sup>GII</sup>2着)、障害2戦0勝

サンキュー(13 牝父タイキシャトルUSA)中央34戦3勝(RKB賞)、地方19戦3勝(赤松杯2着、兵庫ウインターC3着)

ハルカノテソーロ(14 牝父ハービンジャーGB)中央17戦2勝

フラッシュスタイル(15 牝父エイシンフラッシュ)中央10戦1勝

サクセスファイター(16 牝父ハービンジャーGB)中央9戦1勝

ユキノグローリー(17 牝父ヴェリストレIRE)中央15戦2勝、障害4戦0勝

ユキノフラッシュ(18 牝父エイシンフラッシュ)中央16戦2勝

**トウシンマカオ** 本馬(19 牝父ビッグアーサー)中央22戦8勝(京王杯スプリングC<sup>GII</sup>、セントウルS<sup>GII</sup>、オーシャンS<sup>GIII</sup>、京阪杯<sup>GIII</sup>2回、オパールS・L、クロッカスS・L、スプリンターズS<sup>G1</sup>2着、京王杯2歳S<sup>GII</sup>2着、キーンランドC<sup>GIII</sup>3着、函館スプリントS<sup>GIII</sup>3着)、香1戦0勝 獲得総賞金447,483,000円

ユキノグレース(20 牝父ビッグアーサー)中央4戦0勝、地方10戦0勝

サンエイキャノン(21 牝父パイロUSA)地方26戦5勝(スプリングC3着)

トウシンバカラ(22 牝父ドレフォンUSA)

トウシンラヴ(23 牝父ビッグアーサー)

(24 牝父ビッグアーサー)

## 祖母サスベンスクイーンUSA

中央3勝(帆柱山特別)、93年輸入、13年死亡

アチーブフィート(99 牝父トニービンIRE)中央3勝(朝日岳特別)、障害1勝  
ユキノマーメイド(03 前出)

## JRAレコードで汚名返上の勝利

スプリントとマイルの間、芝1400mを舞台に争われる京王杯スプリングCは過去10年間、高松宮記念から転戦してきた馬が6勝2着3回と圧倒的な成績を残している。今年の1、2着を占めたのも、レースの「中心」と目されていた高松宮記念組の2頭。2番人気のトウシンマカオ(高松宮記念4着が、1番人気の支持を集めた2年前の最優秀スプリンター・マモコチャ(同3着)を鋭く差し切り、重賞通算5勝目を挙げた。

近3戦、連続で逃げてきたアサカラキングがこの日も好スタートを決めて飛び出し、主導権を奪取、平均的に速いラップを刻んで軽快に飛ばす。トウシンマカオはアサカラキングに並びかけた直線の坂の上り。マモコチャも満を持して追い出しかかったが、十分な手応えをキープしたまま、その外へ迫ってきたのがトウシンマカオだった。横山騎手が本格的に追い出すと、馬も一枚上の決め手を披露。懸命に食い下がるマモコチャを競り落として先頭へ抜け出し、最後は1馬身1/2差をつけてゴールに飛び込んだ。

同舞台のリステッドを勝ち、中京でも重賞(セントウルS)を制しているものの、左回りコースでは外に張る面があり、本来のリズムで走れないことも多かった本馬。しかしこの日はそんな悪癖を見せずに流れに乗り、直線でもまっしぐらに加速、6着に沈んだ1年前の汚名返上を果たした。勝ちタイムの1分18秒3は従来の記録を23年ぶり、それも一挙に0秒7も更新するJRAレコード。いっそうの進化を示した6歳のビッグアーサー産駒は、安田記念には向かわずひと息入れ、念願のGI制覇がかかる秋に備える。